

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	秋田市街地の渋滞緩和と公共交通の円滑な運行を支援する街路整備											
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	秋田市											
計画の目標	秋田市街地における骨格道路の整備により、市内の渋滞を緩和し交通の円滑化を図る。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	8,881	A	8,881	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	骨格道路(環状道路・分散導入路)の整備率の向上 秋田市内の都心部・市街地・外周部の3環状道路とそれらをつなぐ分散導入路を担う路線の整備率。 骨格道路整備延長 / 骨格道路延長 × 100%	90%	90%	91%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

秋田市において、目標の達成状況と指標の達成状況を確認。

事後評価の実施時期

令和7年5月

公表の方法

秋田市のホームページにより公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

川尻広面線の整備により、渋滞緩和による交通の円滑化が図られ、歩行者・自転車利用者の安全性の向上に貢献できた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	骨格道路（環状道路・分散導入路）の整備率の向上	
	最終目標値	91%
	最終実績値	91%